

開栓器具 支援学校に寄贈

【栃木】市内の異業種4社で組織する有限責任事業組合「ASIとちぎ」はこのほど、同組合が開発したペットボトルキャップを開ける補助器具「スマイルオープナー」を栃木特別支援学校と足利中央特

別支援学校に50個ずつ寄贈した。サッカーJFLの栃木ウーヴァFCの選手がつないだ縁で実現し、同組合のメンバーは「地域の学校支援ができてうれしい」と話している。
(斎藤美和子)

異業種4社の

要望に応え開発

ウーヴァFC選手の縁で

同オープナーは、という由に感えた。開発に参加したのは、基幹経営のメデイアを片手でも開けられる補助器具。障害者や高齢者らの「ペットボトルのキャップが固くて開けない」

開発部品製造の三ツ村製作所の計4社。今回の寄贈は栃木ウーヴァFCのスポン

サーとなつているメデイカルグリーンなどが、高安亮介選手と岡田拓哉選手がそれぞれ栃木と足利中央の特別支援学校に勤務していることを知り実現した。岡田選手から

「学校に身体障害の子供がいるのでぜひ使いたい」との話が出たことだ。
栃木特別支援学校の贈呈式では、生徒代表で高校3年生の毛塚未来さん(17)が「便利

なものを贈っていた方がいいですね。これから書くなりペットボトルで飲む機会も増える。大切に使います」と話した。
スマイルオープナー(室内用)は840円、問い合わせは栃木商工会議所内ASIとちぎ 02882・233・3131。



スマイルオープナーを受け取る栃木特別支援学校の女子生徒たち